

編集後記

2019年7月に本学会の編集委員を拝命し、任期も残すところ数カ月ほどとなりました。これまでプラズマ・核融合学会には2009年に京都で開催された第26回プラズマ・核融合学会年會にて研究成果を発表させていただいた以降は長く関わりを持つことがなく、編集委員のお話をいただいたときは少々戸惑いを感じたことを記憶しております。しかし、これは自身にとって新たな経験が得られるとともに他分野の雰囲気も味わえる非常によい機会となると考え、お引き受けしました。任期後半の昨年7月からは、私の所属(名城大学)が名古屋にあることもあり、Applied Plasma Physics (APP) 分野の副主査を務めておりますが、おかげで毎月開催される編集委員会に顔を出すようになり、学会全体の様子がようやく把握できてきたところです。編集委員になった当初は戸惑いもありましたが、私としては色々勉強させていただく良い機会になっていると感じており、現在では編集委員のお話をいただいたことに感謝しております。任期も残すところわずかですが、諸先生方のお力添えをいただきな

がら業務を進めてまいりますので、引き続き何卒よろしくごお願い申し上げます。さて、本会誌が皆様に届けられる頃には新年度に入り、新人の方々による新たな研究が開始されているところかと思えます。大学に所属する私共としては、いかに学生全員に研究への「やりがい」と「面白さ」を感じながら熱心に取り組んでもらえるか、という点が次世代の科学技術やモノづくりを支える若手の育成につながる非常に重要なテーマであります。スマホを見ればゲーム、SNSなど様々な誘惑がある現在、少なくとも私自身は感じている、それらに勝る魅力的な研究をどう伝え、感じ取ってもらえるか日々模索しながら学生と接しております。学生の感性は十人十色、刻々と変化する社会状況・環境の中で、このテーマは大学教育機関に所属する私にとって生涯にわたる課題であり、面白みのあるものだと感じています。さて本年度は、学生とどのように交わることができ、どれだけ成長してくれるのか、そしてどのようなすばらしい研究成果が見出されるのか、毎年のことではありますが非常に楽しみな今日この頃です。(竹田圭吾)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：森 雅博
副 会 長：安藤 晃 (推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長) 竹入康彦 (推薦委員長：学会賞，研究部会連絡会委員長)
常務理事：下妻 隆 (総務委員長)
理 事：荒巻光利 (編集委員長) 出射 浩 大勢持光一 大野哲靖
金子俊郎 木戸修一 (財務委員長) 小西哲之 齊藤輝雄
篠原孝司 (広報委員長) 神野雅文 中井光男 (年会運営委員長，企画委員長)
渡邊隆行 (企業展示検討委員長，支部・地区研究連絡委員長) 横峯健彦 和田 元
監 事：中村圭二，前田達志

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 渡邊隆行 核融合プラズマ 大野哲靖 プラズマ炉工学 小西哲之

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)
エディタ：古閑一憲(九大)，比村治彦(京都工繊大)，波多野雄治(富山大)，城崎知至(広島大)，藤田隆明(名大)，村上定義(京大)
編集委員：池添竜也(九大)，今寺賢志(京大)，岩田夏弥(阪大)，上野一磨(中京大)，大谷芳明(量研)，小川大輔(中部大)，
呉 準席(大阪市大)，小柳津 誠(量研)，加藤雄人(東北大)，河村学思(核融合研)，小林 真(核融合研)，小林政弘
(核融合研)，近藤康太郎(量研)，齋藤誠紀(山形大)，齋藤晴彦(東大)，柴田崇統(高エネ研)，清水鉄司(産総研)，
竹田圭吾(名城大)，田中宏彦(名大)，中村浩隆(阪大)，水口直紀(核融合研)，向井啓祐(京大)，本村大成(産総研)，
森田太智(九大)，森高外征雄(核融合研)，山田大将(長野高専)，安原 亮(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第97巻第4号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2021年(令和3年)4月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。